

説明文

(1) この図は、満川川水系満川川の対象区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合には想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の満川川の河道の整備状況を勘案して、洪水倒閉に関する計画の基本となる年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（約3.3%））の降雨に伴う洪水により、支川に発生した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあつては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があり、家庭倒壊等氾濫想定区域について表示されておらず、また、堤防の破壊を考慮しておりません。

2. 基本事項等

|             |                                                                                                        |
|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 作成主体    | 沖繩県                                                                                                    |
| (2) 指定年月日   | 令和 7 年 3 月 31日                                                                                         |
| (3) 指定の根拠法令 | 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項                                                                               |
| (4) 対象となる河川 | 満川川水系満川川（実施区間）<br>左岸：本部町宇並里西名座原1054-1番地先から海に至るまで<br>右岸：本部町宇並里大嵐原1345番地先から海に至るまで<br>満川流域全体に60分の降雨量で88mm |
| (5) 前提となる降雨 | 満川流域全体に60分の降雨量で88mm                                                                                    |
| (6) 関係市町村   | 本部町                                                                                                    |

3. その他計算条件等

(1) この図は、満川川の県が管理する区間で、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」（令和5年7月）に基づいて越水又は溢水した場合の氾濫が推定される範囲、氾濫した場合に推定される浸水深を表示した図面です。

(2) この図は、満川川の上記2.（4）に記載した区間における氾濫解析結果を基に作成したものです。

(3) 氾濫解析では、支川の氾濫による影響、排水機場などの上水処理施設等の効果は考慮していません。

位置図

A map of Japan with the Tohoku region highlighted in pink. A red box in the northern part of Tohoku indicates the location of the Mamiya River watershed. A line points from the text '満名川水系満名川' to this red box.

索引図

今帰仁村

満名川

本部町

名護市

